

認証企業一覧

(1) 優良認証企業 (7社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
あいきん 愛三工業 株式会社 ※	大府市	<p>本社工場では、2016年から清掃活動を継続している近隣の河川で、外来種駆除や生物調査、自然観察会を実施し、環境学習イベントは従業員だけではなく、地域住民にも開放するなど、普及啓発に努めている。</p> <p>豊田工場に隣接する約4haの豊田市の緑地を借り受け「愛三豊田の森」として、2016年から森づくり活動を継続している。</p> <p>2021年から西三河生態系ネットワーク協議会に参画し、産学官連携による生態系保全や環境教育に取り組むなど、活動を拡大している。</p>
愛知製鋼 株式会社	東海市	<p>知多半島生態系ネットワーク協議会の構成員として主体的に活動し、2012年度より知多工場に隣接する約2万㎡からなる中新田緑地を、「カブトムシのすむ森づくり」を合言葉に、従来から地域に生息していた50種の指標種が集まる環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>知多半島生態系ネットワーク協議会及び命をつなぐプロジェクト主催でのLOVE GREEN DAYに主体的に携わり、参加者への生物多様性に関する普及啓発を継続的に実施している。</p>
大日本印刷 株式会社	名古屋市 守山区	<p>名古屋市内の自社ビオトープにおいて、市の準絶滅危惧種に選定されているジャコウアゲハが生息しやすい環境を維持管理している。</p> <p>藤前干潟を守る「庄内川ペーパー」プロジェクトにより、地域の小学生と連携した河川敷のヨシ刈り活動及びそのヨシを使った卒業証書への再生利用を継続的に実施している。</p> <p>環境出張授業・アダプト清掃活動・ファミリーフレンドリーデーで、地球環境の取組やジャコウアゲハ保全に関する啓発活動を継続的に実施している。</p>
中部電力 株式会社	名古屋市 東区	<p>社員で構成する森林ボランティアの特定非営利活動法人「水とみどりを愛する会」は、豊田市の公益財団法人オイスカと連携して間伐体験教室の実施や、名古屋市の東山動植物園で、親子で楽しむ自然体験ツアーなどを継続的に開催している。</p> <p>自社で所有・管理する名古屋港ワイルドフラワーガーデンブルーボネット（リニューアル工事中）では、ミナミメダカとナゴヤダルマガエルの観察会を実施しているほか、名古屋市の猪高緑地ではモウソウチクの駆除活動を実施している。</p>
株式会社 東海理化 ※	丹羽郡 大口町	<p>大口町内の小学校に隣接するビオトープにおいて、継続的に維持管理活動を実施し、児童への環境教育の教材を提供している。</p> <p>特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの駆除活動を大口町、江南市、小牧市、豊川市内で継続的に実施している。</p> <p>大口町内の本社工場において、建屋の屋上へ新たにビオトープを創出している。ビオトープは社員が自ら苗植えや土入れを行い、生物多様性保全活動の重要性や自然環境に配慮した行動を社員に促している。</p>
トヨタ紡織 株式会社 ほうしよく	刈谷市	<p>トヨタ紡織の各工場・拠点において生物調査と保全活動を継続的に実施。猿投工場ではフモトミズナラやネズの木を保全している。</p> <p>2022年より大口町、江南市、瀬戸市、小牧市等において、近隣企業とともに特定外来生物に指定されているオオキンケイギク駆除活動に参画している。</p> <p>飛騨川を経て愛知県の水源を担う木曾川水系につながる「白川（加子母川）第一級河川」の源流地域において「加子母森づくり活動」を実施している。</p> <p>地域の小中学校を訪問し、生物多様性を含む環境関連の出前授業を開催している。</p>
株式会社 豊造園 ゆたかぞうえん	名古屋市 名東区	<p>自社ビオトープの維持管理及び生息・生育するヘイケボタル（準絶滅危惧種に選定（市））やカワラナデシコ（絶滅危惧 I B類に選定（市））の保全を継続的に実施している。</p> <p>無農薬、化学肥料不使用の畑に地域の子供会や保育園児を招いて収穫体験会を実施しており、環境配慮型農業を学ぶ機会と生き物との触れ合いの場を創出している。</p>

※愛三工業株式会社及び株式会社東海理化は、2022年度にあいち生物多様性企業認証制度の認証を取得。

(2) 認証企業 (7社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
株式会社 愛知銀行	名古屋市 中区	環境省と連携して、ローカルSDGsの実現に向けたセミナーを開催。竹島水族館館長を招いた講演により、生物多様性に関する普及啓発を実施。竹島水族館近隣の海岸における清掃活動を実施している。生物多様性保全を含めた、SDGsやESGに関連する経営目標をモニタリングし、目標を達成した際には金利を引き下げる融資制度を設けている。
あいにちりよくか 愛日緑化 ぞうえん 造園株式会社	瀬戸市	瀬戸市内に位置する山林の整備活動を、樹木医の資格を持つ社長を中心に、地域の保全団体と連携しながら継続的に実施している。地域の小学校における森林に関する出前授業や、一般向けの森ツアーイベントを開催し、森林整備活動の普及啓発に努めている。
コニックス 株式会社	名古屋市 中村区	西三河生態系ネットワーク協議会の構成員として活動を実施しており、おかざき自然体験の森に生息するカワバタモロコ、ホトケドジョウ、ヒメタイコウチについて、ビオトープ整備のボランティア活動「いきもり実践隊」を中心に生息環境の維持を実施している。学校を対象とした生物多様性の理解に資する座学を会社独自で企画し、開催している。
にっぽんゆうせん 日本郵船 株式会社 名古屋支店	名古屋市 中区	“海への恩返し”をテーマとして、佐久島での藻場再生活動を西尾市と連携して実施している。関連会社にも藻場再生活動に関する普及啓発を実施しており、活動の輪の拡大を促している。環境DNAを利用した生物多様性観測網「ANEMONE(アネモネ)」の運用に携わっており、2021年に東北大学、北海道大学と共に世界で初の試みとなる外洋での環境DNA観測を試験的に実施し、158魚種のDNAを検出することに成功した。
むさしせいみつ 武蔵精密 こうぎょう 工業株式会社	豊橋市	会社敷地内で発見された特定外来生物のアルゼンチンアリ及びセアカゴケグモの駆除を徹底しており、豊橋市と情報の共有を行いながら外来種の分布拡大抑制に努めている。2018年から汐川干潟において社員参加型の環境保全活動を実施している。
ライオン 株式会社 名古屋オフィス	名古屋市 中区	保全団体と連携して名古屋城近辺のヒメボタルの保全活動を2015年から実施しているほか、消費者向けの健康講座においてヒメボタルの保全活動の内容を発信し、啓発している。会社周辺で外来種のヒメムカシヨモギの駆除を実施している。
有限会社 ライフコー ポレーション	半田市	2021年度に常滑市内のため池に繁茂した外来種ホテイアオイの駆除を実施している。その後も経過観察と駆除を続け、2024年7月時点で生育が確認されない状態まで環境を改善した。化学肥料の使用量を抑えた環境配慮型農業を実践しており、地域の子どもたちが昆虫採集を楽しめる憩いの農地として維持管理を実施している。